Handmade Pickups For Acoustic Instruments 取扱説明書

シャッテン　総輸入代理店：株式会社ティ・エム・シィ
本社 / 〒550-0003 大阪市西区京町堀 2-5-16　Tel:06-6447-1215
http://www.tmc-liveline.co.jp　contact@tmc-live-line.co.jp

この度はシャッテン・ピックアップのアコースティック楽器用ピックアップをご購入いただきまして大変有り難うございます。
本説明書を良くお読みになり適切にお使い下さい。

汎用コンタクトピックアップ・デュアリーインサイド取り付け方法

エンドピンジャックの取り付け方法

1) 弦を全て緩め、1、6 弦以外取り外すかテープ等で止めて手がサウンドホール内に入るようにします。ギター底部のエンドピンを取り外します。

2) エンドピンを取り付けたい部分のエンドブロックに 4.5㎜ のドリルで穴を開け、貫通します。

3) 次に太いドリルで穴を広げる際に傷つけないように、穴のエッジを回転ヤスリやバリ取りカッターを使って面取りします。

4) 9.5㎜ のドリルで穴を広げます。再度穴のエッジを面取りします。最後に 12.5㎜ のドリルで穴を広げます。

5) エンドピンジャックの外側のストラップボタン、ナット、ワッシャーを取り外します。

6) ピックアップとジャックをサウンドホールから楽器の内部に入れ、エンドブロックに開けられた穴にジャックを差し込みます。ジャックの先が穴から 8㎜ ほど外に出るようにします。

7) ワッシャー、ナット、ストラップボタンを取り付け、ナットを締め付けます。

ピックアップの取り付け

ピックアップの取り付け位置（アコースティックギターの場合）
1) 楽器により取り付けのベストポジションは異なります。一般的には X ブレーシングの周囲にベストな場所が見つかる場合が多いです。

2) 付属のパテを指に取り、柔らかくなるまで揉んで下さい。楽器に貼り付ける側（白い 8 の字が見える側）に薄く均一に塗ります。付属のパテは一回の使用量よりも多量ですのでご注意下さい。適切なパテの厚みは 1-1.5㎜ です。

3) サウンドホールから手を入れて、X ブレイシングの高音側の部分にピックアップを小刻みに動かしながら押しつけ、音板に貼り付けます。1 弦と 6 弦をチューニングして、アンプにつないで鳴らしてみて下さい。いろいろな場所を試し、最も良いレスポンスが得られる場所を見つけて下さい。図 2 の様にフィンガーブレーシングの間にベストな場所が見つかることもあります。楽器によっては低音側の方が良い結果が得られることも有りますので図 1 の周囲もお試し下さい。

4) 楽器によっては図 3 や図 4 のように、ブリッジの下側の方が良い音で鳴ることもあります。

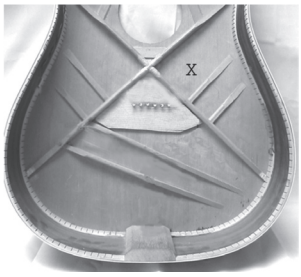

図 1

図 2

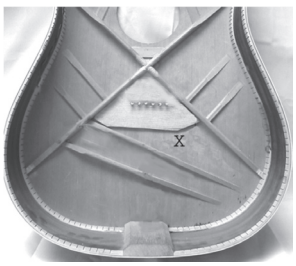

図 3

図 4

（クラシックギターの場合）
クラシックギターの場合は通常はブリッジの裏の少し低音弦よりの付近がベストです。時にはブリッジとサウンドホールの間にベストポジションが見つかる場合も有ります。ピックアップを取り付けるスイートスポットが見つかるまで、いろいろな場所を試してみて下さい。

（ウクレレの場合）
サウンドホールから指を入れてサウンドホールとブリッジの間に取り付けて下さい。多くの場合ブレーシングがサウンドホールのすぐ下とブリッジの裏に通っているのでその間の音板の中央に取り付けます。